

令和5年度 附属学校研究支援・特色化にかかわる事業実施報告書

事業の名称	附属旭川「12年教育の実現」多様な人と関わり、豊かな人生を切り拓く人材の育成ー附属旭川「12年教育」の基盤となる豊かな人間関係作りを推進する保育環境の充実ー【幼】
事業実施代表者名	園長 佐藤 公文
実施附属学校園名	附属旭川幼稚園
事業内容 (実施内容について、500～1,000字以内で記述)	<p>【事業内容】</p> <p>◆附属幼稚園として特色ある保育</p> <p>①幼小中12年で育む資質・能力の相互確認と 附属旭川幼小連携プランの作成 附属旭川学校園の立地と特色を生かし、幼小の園児・児童による交流、小中の児童生徒による交流に加え、幼小中の園児・児童・生徒が一体となる体験活動を実施した。また、幼小中におけるカリキュラムマネジメントの取組により、12年を見通した取組による成果を踏まえた教育活動の一層の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小交流 5月(春),8月(夏),11月(秋),2月(冬)の4回実施。交流前には幼小連携会議を実施。 ・幼中交流 6月,10月の2回実施 <p>②非認知能力を育成する遊びの研究に繋がる 環境の整備と実践資料の収集 園児一人一人が「やってみたい」という思いを高め、豊かな活動を展開するための環境構成を工夫するために保育玩具の充実を図る取組や、園児の活動やその見取りを担当・副担任等で共有、検証する「フォトカンファレンス」を定期的開催し、環境構成や保育の共有、見直しを図った。</p> <p>③幼児期における表現遊びの充実 表現遊びの幅を広げるために、共有楽器(鍵盤ハーモニカ)を購入整備し、音楽に親しみ豊かな情操を育む遊びの充実を努めた。</p> <p>④附属旭川幼稚園研究大会を開催。国立特別支援教育総合研究所から久保山茂樹先生を講師にお招きし、保育の質向上に関わる指導・助言をいただいた。</p> <p>⑤幼児教育に関わる国の動向を学び、今求められる保育の質向上の在り方を学ぶための研修を充実させる。</p>
成果と課題 (活動の成果と課題について、500字程度で記述)	<p>コロナ5類移行を一つの契機に、園長のリーダーシップの基、附属旭川幼稚園らしい特色ある保育の展開に努めてきた。 園児に豊かな心を育み、非認知能力を育む保育の質向上を図るために、園内の教具整備や研修の充実を努めてきた。</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇保護者の園教育への満足度(肯定的評価) 100%(達成) ◇令和5年度入園者(3歳)は定員充足率 100%(達成) <p>課題としては、幼小中の連携による12年教育の具体的実践を言語化し、整理することが必要である。幼児教育において育まれた資質・能力の基礎が幼小連携によってどのように共有化され、義務教育以降の学びに効果を発揮しているか等について検証していかなくてはならない。また、それらの教育的実践を広く発信できる準備を進めていく必要がある。</p>

<p>今後の発展性 (残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500字程度で記述)</p>	<p>本園は予定では、来年度途中から新園舎へ移転する。今年度まで積み上げてきた実践を整理し、新園舎での保育の在り方について試行錯誤していくことが重要である。小学校と隣接する場所に移転することをストロングポイントとして、一層の幼小連携実践を進めていくことが可能となると考えている。 カリキュラムレベルで全道の参考となる「附属版 幼小架け橋プログラム」を完成させ、附属旭川12年教育の充実につなげていきたい。</p>
<p>事業の公表状況 (事業をHPで公開した場合、又は新聞等に掲載された場合、当該媒体名、掲載日等を記入)</p>	<p>令和5年 9月21日 北海道通信 研究大会記事掲載</p>

(注) 当該事業に係る写真等の参考となる資料がある場合は、この事業報告書に添付すること。